

山口県文書館の「朝鮮信使御記録」が ユネスコ記憶遺産に！



当館蔵の「朝鮮信使御記録」13点（県庁旧藩記録 877～889）が、このたびユネスコ記憶遺産（「世界の記憶」）「朝鮮通信使に関する記録－17世紀～19世紀の日韓間の平和構築と文化交流の歴史」に登録されました。

正徳元年（1711）に来朝した信使（通信使）に対する、下関・上関等における萩藩の接待の記録群です。このもてなしに対し、通信使から藩主毛利家に進物が贈られましたが、その現物と目録（いずれも国指定重要文化財）は山口県立山口博物館が所蔵しており、目録がこのたび当館の資料と同時に登録されました。

当館の登録資料は、通常の閲覧請求により、手にとってご覧いただけます。

（この資料は、『下関市史 資料編VI』に全文翻刻されています）